

令和3年度東村山市子育て総合支援センター 事業計画書

東村山市子どもNPOユニット
代表 千葉 瑞枝

I 管理執行体制

- 1 管理執行体制組織図
- 2 開設の状況について
- 3 事業方針と重点課題

II 業務計画

1 子育てひろば、その他の事業

① 基本事業

- A 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- B 子育て等に関する相談、援助の実施
- C 地域の子育てに関する情報の提供
- D 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

② 地域支援事業

- A 高齢者・地域学生など地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取り組み
- B 地域の団体と協力して伝統文化や習慣・行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する取組
- C 地域ボランティアの育成・町内会、子育てサークルとの協働による地域団体の活性化など地域の子育て資源の発掘・育成を継続的に行う取り組み

③ 出張ひろば

④ 情報発信・広報

⑤ 子育て情報サイトころころネット

2 ファミリー・サポート・センター

3 防災・安全について

4 自主事業について

- A エンパワメント企画
- B 保育サポート まめっちょ
- C ころころまるしえ

5 事故及びクレーム対応について

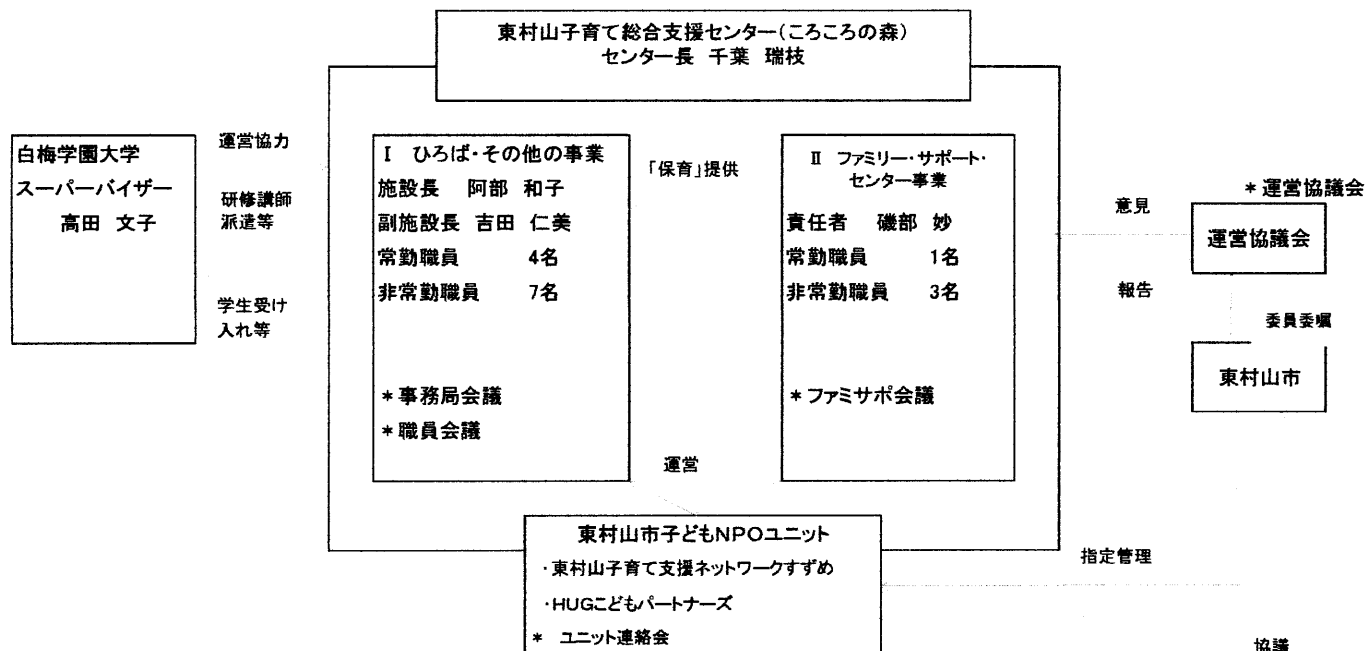
6 その他の事業

- A その他支援センターに必要な事業
- B 利用者アンケートの実施
- C 個人情報の保護

III 管理物件の管理について

I 管理執行体制

1 管理執行体制組織図



2 開設の状況について

	ひろば	その他の事業	ファミリー・サポート・センター
開館日	毎週火～土曜日	毎週月～土曜日	毎週月～金曜日(土曜開催有)
開館時間	午前10時～午後4時	午前10時～午後4時	午前9時～午後5時
職員体制	常勤職員6名 非常勤職員7名 (1日当たり8～9名配置)		常勤職員2名 非常勤職員3名 (1日当たり2～3名配置)

3 事業方針と重点課題

<事業方針>

子育て家庭が安心して集い、子育てが楽しいと思える支援
 支え、助け、つながりあう 子どもたちを育む地域づくり
 とともに育ち、親の力を引き出す支援

以上の3つを通じて、子育てしやすいまちづくりをめざす

<課題と取り組み>

感染症対策を行いつつ、コロナ禍で希薄になりがちな人と人とのつながりを意識した丁寧な取り組みを行い、安心して子育てができる環境づくりに寄与していきたい

<令和3年度の重点課題>

- ・室内の環境整備、外あそびの充実、預りサポート等の充実を図る
- ・親子の交流の場を提供する
- ・来館できない方への支援について引き続き模索する
- ・困り感のある親への支援を行う

II 業務計画

1 子育てひろば、その他の事業

① 基本事業

A 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

	事業名	内容	回数
1	0ちゃんの日	0歳の親子を対象に環境設定を工夫し交流しやすく遊びやすいひろばを開催。赤ちゃん親子に向けた子育て情報の提供。	24回
2	赤ちゃんタイム	5.6.7か月の赤ちゃん和妈妈の会（HUGと共催）。 8～12か月の赤ちゃんの会（HUGと共催）。わらべうたや手遊びを体験し、おしゃべりタイムで仲間づくりをすすめる。受け入れ人数を増やすため2部制で開催。	各24回
3	あつまれ1才	1.0～1.6歳の親子を対象に発達に応じたおもちゃを選定、環境設定を工夫して行う。 1.7～2.0歳の親子を対象に発達に応じたおもちゃを選定、環境設定を工夫して行う。	各12回
4	あつまれ2才～のお友だち	毎月1回北山公園で開催。2歳以上の親子の外遊びの会。	12回
5	誕生会	インスタで配信し、お祝いのメッセージを届ける。	12回
6	ふたごちゃんの日	多胎児の親子支援（母子保健ゆりかご事業共催）。毎月交流会を実施し、多胎児親子の出会いの場・情報交換の場を提供。	12回
7	グループ育児支援 おむすびころりん	2.3歳児の親子の遊びの会（春・秋・冬開催）。 外遊び体験と地域資源の周知、仲間づくりを進める。	3クール
8	障がいのある子と家族への支援	いろいろな団体とつながりながら、障がいのある子の家族への支援のあり方を模索する。ぐるりんぱの遊びを生かして展開していきけるように担当と協力し行う。	随時
9	外国籍の家族への支援	市役所と連携し外国籍の家族の支援を模索する。来館する外国籍の親子等利用者のマンパワーも活用していく。ポケットクの活用もしていく。	随時
10	パパの段ボール遊具づくり	パパ対象の講座。子どもたちがひろばで遊べる大型段ボール遊具を講師の指導の下製作。パパ同士の交流の場の提供。	2回
11	てんとうむし	0歳からの外遊びの場。異年齢での外遊びを楽しむ。参加人数の分散のため2回制で開催。のぐちちょう子育てひろばと共催でプログラムや、土曜開催なども模索していく。月2回程度開催。	48回

B 子育て等に関する相談、援助の実施

	事業名	内容	回数
1	汐見先生のなんでも 育児相談	汐見稔幸先生による子育て相談。ひろば内で利用者の質問に答える。	1回
2	ひまわり会	小林美由紀氏（白梅学園大学・小児科医）による相談。 4組／1日	6回

3	つくしんぼ	身長体重測定と軽微な相談	6回
4	ぐるりんぱ	集団生活に入る前の時期に、困り感のある親子が安心して過ごせるよう、臨床発達心理士と支援する1歳児の遊びの会。1歳半～2歳対象。	2クール

C 地域の子育てに関する情報の提供

	事業名	内容	回数
1	乳児健診でのひろば紹介	3か月健診を終えた親子に向けて、市内の子育てひろばの紹介を行う。コロナ禍で現在は会場にひろば案内のボードを設置。	通年
2	東村山たんけん	東村山の行事情報や年中行事の解説などを発信していく。	通年

D 子育て及び子育て支援に関する講習などの実施

	事業名	内容	回数
1	パパママ講座	臨床心理士の永田陽子氏（臨床心理士）によるプレママパパと0歳児の親向け講座。	4回
2	パパママもう一回	パパママ講座終了後、講座の復習、参加者同士の交流を目的とした会。	4回
3	離乳食講座	東村山市の栄養士による離乳食講座開催に向け模索していく。離乳食の展示。	2回 随時
4	歯科講座	三上直一郎氏（歯科医師）による歯科講座。	2回
5	パパと体育あそび	パパ向けに行う親子体育遊び。	4回
6	支援者研修	市内子育て支援従事者に向けての研修。オンライン講座も検討。	1回

② 地域支援事業

A 高齢者・地域学生など地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取り組み

	事業名	内容	回数
1	ぽっかぽか	地域の方々との交流（折り紙・コマまわし等）の日。OBの母たちが気軽に参加できる場を提供し、ひろばの親子との交流を図る	12回
2	赤ちゃん登校日	命の学習「赤ちゃんふれあい授業」に利用者の赤ちゃん親子が協力。講義はオンラインで行い、小人数グループで触れ合いの時間をとるなど、学校と協力しながら実施に向け模索していく。	6回
3	ジュニアサポーター講座	夏休み期間中、小学5年生～中学生を対象に、助産師、臨床心理士による講座を行い、その後ひろばでボランティアを体験してもらう。ボランティアセンターにも協力をあおぐ。	1クール
4	あそび大集合	社会福祉協議会との共催で、地域ボランティア、読み聞かせボランティアの協力のもと、昔遊びの展示・伝承、絵本の読み聞かせや伝統芸能の披露を行う。コロナ禍での方法を模索する。	1回

B 地域の団体と協力して伝統文化や習慣・行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する
取り組み

	事業名	内容	回数
1	おはなし会	図書館ボランティア・おはなしくまさんによる読み聞かせ、人形劇の開催。コロナ禍での方法を模索する。	3回
2	季節の行事	七夕・お月見・繭玉つくりを行う。地域の方と新たな取り組みも模索していく。	3回

C 地域ボランティアの育成・町内会、子育てサークルとの協働による地域団体の活性化など地域の子育て資源の発掘・育成を継続的に行う取り組み

	事業名	内容	回数
1	おもちゃサポーター	利用者や地域の方によるおもちゃ修理・作成。	通年
2	萩山親子ひろば「どんぐり」 との協働	「萩山親子のひろばどんぐり」への訪問 遊びの会の実施。	1回
3	おもちゃの病院	「おもちゃドクター」によるおもちゃの修理。	10回
4	ひがしむらやま子育て 応援ネット	市内子育て支援団体のネットワーク支援。	随時
5	「トコトコ通信」支援	子育て情報誌「トコトコ通信」活動支援および増刷。サロン開催。	通年
6	地域団体活動支援	諏訪町3丁目サロンへの訪問。 障がい児連絡会への部屋貸し。	通年
7	備品貸出し	外部団体への印刷機の貸し出し。 備品・おもちゃ等の貸し出し。	随時 随時
8	サークル支援	子育て団体、サークルの登録及び部屋貸し	随時

③ 出張ひろば

	事業名	内容	回数
1	出張ひろばあきつ「まんま」	出張子育てひろば 秋津地域交流センターにて毎週火曜日 10:00~15:00 開催	週1回

④ 情報発信・広報

	事業名	内容	回数
1	ホームページ・SNSの管理	ころころの森のホームページ・Instagramの維持、管理、内容の充実。	通年
2	ひろばだより発行	毎月ひろばだよりを発行、配布。増刊号を2回(特別号)作成。毎月1300部発行	12回

⑤ 子育て情報サイトころころネット

開設からの方針通り当事者参加による事業を行っていく。コロナ禍における新しい生活様式では、インターネットやSNSでの子育て情報の配信やコミュニティ作りが必要となってきたため、支援メニューのひとつとして活用していけるよう模索していく。

	事業名	内容	回数
1	運営委員会の開催	市民委員2名を含む運営委員による月1回の会議で活動内容について検討していく。	9回
2	保守メンテナンス、更新作業	ひろば内で保育付き有償ボランティアを募り、子育て当事者によってリンク先などのチェックを行う。	7回
3	取材し隊（市民）による記事作成	母親たちが地域イベント等に参加した取材記事や日々の子育ての様子をコラムとして作成。月1回程度集まり、情交換などを行う。	通年
4	「子育てにやさしい大賞」の開催	市民の投稿・投票によって選ばれた東村山市内の子育てにやさしい施設・店などを表彰する（2月授賞式）	通年
5	広報活動	チラシの作成と配布の他、SNSを活用した展開を行う。「子育てにやさしい大賞」の開催時に公共施設の他、アワード関連の店舗等へチラシを送付し、協力をあおぐ。「LINE公式アカウント」を活用し様々な情報を配信していく	通年

2 ファミリー・サポート・センター

〈事業方針〉

仕事と育児の両立支援をはじめ、広く子育て家庭を支援することを主な目的とし、

- ・事業趣旨や決まりについて丁寧な説明を心掛け、会員の確保に努める。
- ・多様なニーズに応えられるよう、きめ細やかな調整を行う。
- ・子育てひろばにおける預かりなど他事業との連携した取り組みを進める。
- ・感染予防対策を講じて、社会状況の変化に対応した運営を模索する。

〈人員計画〉

アドバイザー4名

〈業務内容及び計画〉

① 会員の募集及び登録

② 会員の講習及び交流

- ・定例会 隔月 実施予定

東村山市社会福祉協議会地域福祉活動室またはころころの森

- ・提供会員養成講習会の実施 年1回 9月中旬～10月中旬

東村山市社会福祉協議会地域福祉活動室

- ・ステップアップ講習会の実施 年1回

- ・会員交流会 年1回

③ 援助活動の調整

④ 援助活動の指導及び相談

- ⑤ 援助活動の広報
 - ・パンフレットの作成、配布
 - ・広報誌の発行
- ⑥ 報告書及び各種集計表の作成
- ⑦ 関係機関との連絡調整
- ⑧ 事業の運営事務
- ⑨ 危機管理
- ⑩ 研修その他

3 防災・安全について

〈防災〉

- ・社会福祉協議会と合同の避難訓練の実施
- ・ひろば利用者を含めた避難訓練
- ・不審者対応訓練および避難経路確認訓練
- ・事前協議における避難場所の確認（ファミリー・サポート・センター）

〈安全〉

- ・子育てひろば全国連絡協議会「子育てひろば総合保障制度」、日本興亜損保「普通傷害保険レクリエーション安心プラン」加入
- ・女性労働協会 「地域子育て支援補償保険」加入
- ・軽微なケガに於いては看護師資格の職員に繋ぎ手当を行う。また病院の情報や紹介を行う。
- ・〈コロナウイルス感染症予防対策〉
- ・開館前・閉館後、ひろば開催途中等の清掃、消毒の徹底。3密にならないような環境設定をする。また、職員は体温を計り、健康観察票で管理をする。

4 自主事業について

A エンパワメント企画

子育てしながらスキルを活かしたい母達のはじめの一步を応援する企画。

B 保育サポート まめっちょ

ファミリー・サポート・センター提供会員を活用し、ころころの森の講座やころころのネット活動時の集団保育等を行う。

C ころころまるしえ

市内の作業所のお菓子等の販売をひろば内で行い、地域資源の紹介と安全、安心な食べ物の提供を行う。

5 事故及びクレーム対応について

- ・意見・要望・苦情等を解決する仕組みの導入
- ・ひろば内に意見箱を設置

6 その他の事業

A その他支援センターに必要な事業

	事業名	内容	回数
1	ボランティア・見学者受け入れ	ボランティア 職場体験 見学者の受け入れ 大学生見学実習 実習生受け入れ	随時 随時 随時 随時 随時
3	社協との連携	プログラムのボランティア要請、打ち合わせ	月1回
4	職員研修	東京都子育て支援員研修・利用者支援員研修・ひろば職員向け研修 ころころの森プログラムへの参加	随時 随時
5	地域会議への出席	ひろば会議・エリア会議・ホリデーネットワーク等	随時
6	母子保健との連携	母子保健との協働事業等打ち合わせ・会議への参加	随時

B 利用者アンケートの実施

ひろば、ファミリー・サポート・センターで利用者アンケートを行う

C 個人情報の保護

法人の「個人情報保護規定」および仕様書別紙「個人情報の取り扱いに関する特約条項」に基づき、個人情報の保護を図る。

Ⅲ 管理物件の管理について

- ・修繕の必要な箇所等は、速やかに市の担当課に連絡し対処を依頼する。